

# 3年生

教科	成果	課題	重点取り組み
<p style="text-align: center; font-size: 2em;">国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の構成を理解し、自分の力で問いに対する答えを見付けることができるようになった。</li> <li>・物語文の叙述から、登場人物の気持ちを想像し、書くことができる児童が多い。</li> <li>・中心人物の気持ちの変化を捉えるために、物語全体の場面を見通すことが大切だと理解した児童が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作文の基本ができていない児童が多い。 (改行、「」、句読点、ら抜き言葉、い抜き言葉)</li> <li>○読み手を意識して、読み手に分かりやすく文章を書くことができる児童が少ない。</li> <li>◎漢字の定着に時間がかかる。また、前学年の漢字が身に付いていない児童も多い。</li> <li>・一度で内容を全て理解したり、話の要点を聞き取ったりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の文章を書く学習の中で、作文の基本を繰り返し指導する。</li> <li>・書く学習過程で段落構成を考えさせ、文章構成メモを作ってから書くようにする。</li> <li>・漢字定着のために、毎日の宿題にしっかりと取り組ませ、書き順や字形などに注意して書くように指導する。また、文を書く際には習った漢字は積極的に使用していくことを意識させる。</li> <li>・集中して話を聞けるように声を掛け、話の要点をまとめる学習を繰り返す行う。</li> </ul>
<p style="text-align: center; font-size: 2em;">社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいる身近な地域に加えて、区内の様子にも興味をもって取り組んでいる。</li> <li>・地図記号や八方位などを確認して地図を読み取ることの良さを感じとり、興味をもって取り組む児童が多い。</li> <li>・資料から問われていることを見つけ出し、意識的に問題解決に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の地図を頭にイメージし、白地図等に表現する力が弱い。</li> <li>◎自分の考えを表現する際に、学習したことを選択・判断して適切に表現することができる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料などから問われていることを読み取る機会を多くつくり、ノートやワークシートに記録する習慣を身に付けさせる。</li> <li>・自分の意見に必ず根拠をもって発言できるように、話型やワークシートを用いるなどして指導を行う。</li> </ul>
<p style="text-align: center; font-size: 2em;">算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算技能を身に付けている児童が多い。</li> <li>・授業で学習した基礎的な計算や内容は、繰り返し授業で解くこともあり、身に付いている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎時刻や時間の概念についての学習が苦手な児童が多い。(時計が読めない児童がいる)</li> <li>・問題の解き方を文章(言葉)で説明する力が弱い。</li> <li>・かけ算九九が定着していない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や視覚的・体感的な学習を通して丁寧に確認し、生活に結び付けて学習する力を身に付けさせる。</li> <li>・解き方を一人ひとり考えた後、説明の仕方が上手な児童を紹介するなど例示をしていく。</li> <li>・隙間時間に九九を言わせる。</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の過程で変化したことや、結果から分かったことを考えることができる。</li> <li>・実験や観察を意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<p>◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすることが苦手な児童が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の児童において植物や昆虫の観察が苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの実験や体験の活動を取り入れるとともに、一人ひとりが実験や観察に携われるような方法を工夫する。</li> <li>・問題に対する予想や見通しを立てて、実験や観察に取り組ませる。</li> <li>・経験を重ね、実験・観察の技能の向上を図るようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で得た知識や技能を使って、どのように表現すればよりよい音楽にすることができるか、全体的によく考えることができる。</li> <li>・考えたことを試して歌ったり演奏したりしながら表現したいという意欲が高い。</li> </ul>	<p>◎音楽の表現領域において、学習に困難を感じる児童とそうでない児童との能力の差が大きい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困難を感じる児童は自分の思いや意図をもつことはできるが、言葉にして他者に伝えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現領域で困難を感じる児童には、音楽を形づくる要素に着目しやすくなるよう、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。</li> <li>・友達に自分の思いを伝える場面では、言葉での代わりに体の動きを使って伝えられるように支援する。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明をよく聞いて、落ち着いて取り組むことができる。</li> <li>・自分なりの思いをもって生き生きと表現することができる児童が増えてきた。</li> </ul>	<p>◎表したい思いはもっているが、表し方を考えて自分なりに工夫することや、自信をもって表現することが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の過程の中で、個々の児童へのひらめきや表現を肯定的に受け止め、褒める声掛けをし、自分らしさへの自信につなげていく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに向かって、努力を重ねて頑張ろうとする児童が多い。</li> <li>・約束を守って、安全に運動することができる児童が多い。</li> <li>・友達の良さを見付け、まねしようとしながら技能を身に付ける児童が多い。</li> <li>・水遊びの学習では、意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>◎何を意識すれば、技能を高められるのかを考えながら運動をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動技能の習得に個人差が見られること。</li> <li>・体力が不十分であること。</li> <li>・水泳技能の習得に個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組む運動のコツがつかめるような学習資料を提示や動画などで技能向上を図る。</li> <li>・運動の楽しさを感じられるように取り組ませながら課題解決できる場をつくる。</li> <li>・休み時間なども体力づくりの場として活用する遊びを提案し体力向上を図る。</li> </ul>